

1-6 気象概況

年 月	降 水 量 (mm)				気 温 (°C)					風 向・風 速 (m/s)					日照時間 (h)
	合 計	日最大	最大		平 均			最 高	最 低	平均風速	最大風速		最大瞬間風速		
			1時間	10分間	日平均	日最高	日最低				風 速	風 向	風 速	風 向	
平成25年	2,045.5	101.0	42.0	18.0	17.1	22.0	12.9	38.3	-2.2	2.2	11.3	南	20.7	南	2135.5
26	1,856.0	167.0	44.5	12.0	16.6	21.5	12.6	37.7	-2.9	2.3	10.6	北	18.9	北	1865.3
27	2,063.0	103.5	69.5	20.0	17.1	21.9	13.2	38.5	-2.9	2.2	13.1	北北東	26.0	北北東	1874.4
28	2,451.5	190.5	47.5	17.0	17.8	22.7	13.9	38.0	-6.5	2.2	10.7	南南西	19.7	南南西	1707.1]
29	1,678.5	138.5	58.5	21.5	16.9	21.9	12.8	37.7	-3.6	2.1	11.0	南	19.9	北東	2081.0
30	1,900.0	277.0	49.5	15.5	17.4	22.4	13.2	39.5	-3.8	2.2	13.1	南	23.6	南南西	2139.0
令和元年	2,154.0	323.5	90.0	22.5	17.6	22.6	13.5	38.4	-1.1	2.1	20.0	南	32.4	南	2001.4
2	2,779.0	271.0	92.5	21.0	17.5	22.5	13.3	37.8	-2.0	2.2	15.5	南南東	29.9	南	2102.9
3	2,396.5	294.0	72.0	20.0	17.8	23.1	13.6	37.2	-5.0	2.2	15.5	南	25.5	南	1711.8]
4	1,617.5	184.5	63.0	19.5	17.5	22.7	13.4	37.9	-2.8	2.2	12.2	南	22.9	南	2116.5
【 内 訳 】															
令和4年1月	47.5	38.5	3.5	1.0	5.8	11.0	1.9	14.7	-2.0	1.9	6.7	北東	14.3	西南西	167.2
2	24.5	17.0	4.5	1.0	5.4	10.3	1.4	16.5	-2.8	2.2	6.1	西北西	12.7	北西	156.8
3	134.0	37.5	11.0	3.0	12.2	17.9	7.5	24.7	1.3	2.2	7.8	北東	15.2	北東	176.0
4	138.0	44.5	24.5	6.5	16.5	22.4	11.5	28.8	3.9	2.5	8.5	北北東	17.7	北北東	225.0
5	65.0	35.5	10.5	4.0	20.6	26.6	15.8	33.2	9.3	1.9	5.4	北北東	11.6	西南西	192.5
6	213.5	64.5	23.0	11.5	24.7	29.8	21.0	36.4	16.8	2.5	8.6	南南西	16.6	南南西	181.7
7	414.0	184.5	63.0	19.5	28.6	33.4	25.1	37.9	21.6	2.1	7.8	南東	14.8	南	144.2
8	306.0	67.0	39.0	19.5	28.9	33.7	25.4	36.7	21.5	2.0	7.0	南	13.0	南	191.2
9	168.0	50.0	31.0	11.5	25.8	30.3	22.4	35.6	17.9	3.2	12.2	南	22.9	南	149.8
10	54.0	18.0	11.5	4.5	19.2	24.4	14.9	31.4	10.4	2.3	6.9	南	12.4	南	213.0
11	28.0	13.0	6.5	2.5	15.6	21.3	11.0	26.8	6.8	2.0	7.4	北北東	13.0	北北東	186.0
12	25.0	12.0	2.5	0.5	6.4	10.9	2.5	18.5	-0.3	1.6	7.1	西	15.8	西	133.1

資料：気象庁HP「過去の気象データ検索」

※この表は、地域気象観測所（北緯33度18.2分、東経130度29.6分、海拔7m、久留米市津福本町）における観測値である。

※掲載している気象データは、過去にさかのぼって修正される場合がある。

※数値に関する記号の説明について、以下のとおり気象庁HP「過去の気象データ検索＞利用される方へ」より説明文を抜粋する。

「」：統計を行う対象資料が許容範囲で欠けていますが、上位の統計を用いる際は一部の例外を除いて正常値（資料が欠けていない）と同等に扱います（準正常値）。必要な資料数は、要素または現象、統計方法により若干異なりますが、全体数の80%を基準とします。

「]」：統計を行う対象資料が許容範囲を超えて欠けています（資料不足値）。値そのものを信用することはできず、通常は上位の統計に用いませんが、極値、合計、度数等の統計ではその値以上（以下）であることが確実である、といった性質を利用して統計に利用できる場合があります。